

2010.02.22 18:00~ (北海道大学原子核理論研究室)

1: 出席者

加藤^{a,b}・千葉・片山・松本^c・富樫^c・浅野^{c,d}・古立^c・牧永^c・椿原^c・村上^c
(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- Tours symposium in Kobe の核データについての Proceedings を送付した。(加藤)
- 4 月の IAEA 会議の準備中。(加藤)
 - 2 日目にバンケット、最終日の 23 日に半日のエクスカージョンを行う。
- 理研プログレスレポートを送付した(今後査読あり)。(椿原)
- JCPRG の HP 上で EXFOR を検索できるが、Mac 上の safari では検索ができないという情報があった。(椿原)
- 2008 年度年次報告書の編集が終了し、入稿した。(村上)
- 看板が完成した。(村上)
- EXFOR と NRDF 共に含まれていない(1970 年以前)の JPSJ(vol1 ~ 26)の論文を 100 編以上発見した。(牧永)
 - 詳細は議題で議論する。
- NRDF の D2101 からエラーを抽出している。(松本)
 - メーリングリストの[work155]に詳細が記載。
- PRELIM. E062 を準備中(古立)

3: 議題

- EXFOR と NRDF 共に含まれていない(1970 年以前)の JPSJ(vol1 ~ 26)の論文の扱い。(牧永)
 - 1970 年以前の採録では、陽子入射のデータを主に収集していた。今後、見つか
り次第採録する。
 - 光核反応の採録は、3 年ぐらい前から開始した。
 - JCPRG が光核反応の採録をすることを、IAEA に通知する。
 - 中性子のデータと光核反応のデータを NEA とバラモフに通知すべきかを、大塚
氏(IAEA)と協議する。

- 分担表のデータベースに機能を追加する。(牧永・加藤)
 - 重複を警告する機能をつける。入力フォームを作成する。村上が担当する
- 新規コードの提案(浅野)。[承認]
D2162 から下記のコードを提案する。
 - MOL mol
 - K kelvin
 - T9 T9
 - CM**3/MOL/SEC cm**3/mol/sec
 - REACTION-RATE Reaction rate
 - K が元素名と混合する恐れがあるが、k(Kelvin)は単位なので問題はない。
- 過去に採録された Reaction rate のデータをどうすべきか?(片山)
- 大塚氏(IAEA)からのメール[jcprg-sc 1746]の扱い。(片山)
 - 組織名・組織形態・所属者・所属者数・採録データなどを変更する必要がある。
 - 大塚・片山案を基に検討する。

次回開催予定日時 2010年3月15日(月)18時00分~

次回開催予定場所 北海道大学原子核理論研究室